

5 文法2 文の成分・文節の働き

組	
番号	
氏名	

1 ニつ以上の連文節が、対等な関係で並んでいるものを「並立の関係」、補助的な意味を添える文節が後ろにある関係を「補助の関係」といいます。次の――線部はA「並立の関係」・B「補助の関係」のどちらか。記号で答えなさい。

- ① 父と母とが、東京を訪れた。〔 〕
 - ② 今回の試合結果は、それほど悪くない。〔 〕
 - ③ 遊びに出かける前に、宿題をやっておけ。〔 〕
 - ④ 優しくたくましいので、兄が大好きだ。〔 〕
- 2 次の――線部の文節は、どういうはたらきをしていますか。あとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ① 二年生になっても、またがんばろうと思う。〔 〕
- ② 雨が上がった。そこで、試合が再開された。〔 〕
- ③ あらあら、ずいぶんがんばりましたね。〔 〕
- ④ まばゆいばかりの光、それが超新星の誕生だ。〔 〕
- ⑤ ゲリラ豪雨への対策を考えることが必要だ。〔 〕
- ⑥ あんなに泳いだのに少しも疲れていなかった。〔 〕
- ⑦ 失敗だとは言えないが、完全な成功でもない。〔 〕

ア 主語 イ 述語 ウ 修飾語 エ 接続語 オ 独立語

次の — 線部の文節は、どのような関係にありますか。あとから一つづつ選び、記号で答えなさい。

- ① 明日で、長い夏休みが終わってしまう。
〔 〕
- ② この実験は、中学生や高校生に特に人気がある。
〔 〕
- ③ 発明家にとっては、失敗が成功の母になるのだ。
〔 〕
- ④ もし失敗したら、科学の発展は十年遅れるだろう。
〔 〕
- ⑤ 万が一に備えて、避難場所を見つけておく。
〔 〕
- ⑥ 今年の生徒たちは、みんな明るくて元気だ。
〔 〕
- ⑦ 朝から走り続けて疲れたので、帰ります。
〔 〕

ア 主語・述語の関係

イ 修飾・被修飾の関係

ウ 接続の関係

エ 並立の関係

オ 補助の関係